

令和4年 飛騨市観光客入込者数等について（1月～12月）

1. 観光客入込者数 861,327人

令和4年1月から12月までの観光客入込み者数は、対前年比39.54%増の861,327人となりました。

○観光客の入込数推移

（単位：人）

年	H29	H30	H31	R2	R3	R4	対前年比
入込客数合計	1,130,852	1,078,956	1,217,325	626,167	617,242	861,327	139.54%
【古川町】	700,588	635,194	640,852	297,404	254,478	388,123	152.52%
【河合町】	31,856	31,337	34,428	16,726	28,135	25,489	90.6%
【宮川町】	31,553	28,327	31,058	19,890	23,695	26,032	109.86%
【神岡町】	366,855	384,098	510,987	292,147	310,934	421,683	135.62%

2. 宿泊客数 72,354人

宿泊者については、対前年比40.36%増の72,354人となり、うち、外国人宿泊者数は849人となりました。

○宿泊客の推移

（単位：人）

年	H29	H30	H31	R2	R3	R4	対前年比
宿泊客数合計	105,695	101,564	108,491	52,897	51,597	72,354	140.23%
うち外国人 宿泊客数	8,286	10,057	11,181	2,076	98	849	866.33%

近年の観光入込客数の推移

飛騨市

各年1月～12月計 単位：人

地区	名称	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	R3年・R4年比
古川町	町並み	385,991	297,924	292,680	137,704	111,500	172,811	154.99%
	ぬくもりの湯すばーふる	27,973	27,468	27,472	17,301	13,846	20,294	146.57%
	数河グラウンド	21,960	22,536	21,135	670	3,157	5,092	161.29%
	道の駅アルプ飛騨古川	121,811	121,639	136,473	107,623	103,198	135,706	131.50%
	古川祭	52,000	56,000	61,000	0(中止)	0(中止)	7,000	-
	三寺まいり	10,000	18,000	14,000	14,000	0(中止)	5,000	-
	きつね火まつり	25,000	32,000	32,000	0(中止)	0(中止)	0(中止)	-
	飛騨古川そば祭り	7,000	10,000	7,500	0(中止)	0(中止)	0(中止)	-
	ふれあい広場	16,777	17,425	17,878	4,447	9,105	14,574	160.07%
	飛騨古川まつり会館	25,538	21,241	20,578	10,929	7,648	13,619	178.07%
	飛騨の匠文化館	6,538	6,789	5,663	4,730	3,774	4,998	132.43%
	ひだ森のめぐみ	-	-	-	-	-	7,064	-
	関西中学ラグビー大会	-	4,172	4,473	0(中止)	2,250	1,965	87.33%
河合町	ゆうわーくはうす	13,144	12,387	12,245	9,576	9,523	10,484	110.09%
	飛騨かわいスキー場	10,003	13,074	13,867	1,288	10,591	10,644	100.50%
	天生県立自然公園	4,679	2,454	4,266	4,812	5,446	2,821	51.80%
	香愛ローズガーデン	4,030	3,422	4,050	1,050	2,575	1,540	59.81%
宮川町	飛騨まんが王国	12,508	12,804	14,048	9,959	9,976	10,165	101.89%
	宮川釣り	14,228	9,530	11,222	9,563	10,801	11,553	106.96%
	池ヶ原湿原	4,817	5,993	5,788	368	2,918	4,314	147.84%
神岡町	ひだ流葉スキー場	33,552	33,336	29,200	6,108	27,177	36,705	135.06%
	流葉温泉ニュートリノ	69,068	62,390	53,828	37,642	35,086	53,240	151.74%
	星の駅・宙ドーム神岡	163,701	176,645	192,823	122,565	117,829	143,524	121.81%
	カミオカラボ	-	-	121,980	61,450	54,000	85,520	158.37%
	奥飛騨山之村牧場	21,300	19,300	20,100	10,800	13,600	16,000	117.65%
	レールマウンテンバイクGattanGo!!	40,964	51,460	55,311	35,874	46,915	65,579	139.78%
	神岡祭	4,000	5,000	2,500	0(中止)	0(中止)	0(中止)	-
	流葉グラウンド	14,270	13,520	12,180	4,590	5,820	9,310	159.97%
	高原川釣り	15,000	12,447	13,065	9,118	10,507	11,805	112.35%
	初金比羅宵祭	5,000	5,000	5,000	4,000	0(中止)	0(中止)	-
神岡獅子祭	-	5,000	5,000	0(中止)	0(中止)	0(中止)	-	
合計		1,130,852	1,078,956	1,217,325	626,167	617,242	861,327	139.54%

資料：岐阜県観光入込客統計調査、まちづくり観光課

近年の宿泊者数の推移

飛騨市

各年1月～12月計 単位：人

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	平成31年	令和2年	令和3年	令和4年	R3年・R4年比
ホテル・旅館	93,977	97,781	97,995	95,023	91,098	94,032	44,927	41,569	57,601	138.57%
	3,568	5,166	6,582	5,924	6,028	6,462	833	69	560	811.59%
ユースホステル・ゲストハウス	1,236	1,922	1,392	3,961	5,577	7,635	2,887	2,102	5,427	258.18%
	25	318	399	2,357	4,020	4,719	1,231	17	289	1700.00%
キャンプ場	8,672	7,113	7,680	6,711	4,889	6,824	5,083	7,926	9,326	117.66%
	54	5	3	5	9	0	12	12	0	0.00%
合計	103,885	106,816	107,067	105,695	101,564	108,491	52,897	51,597	72,354	140.23%
	3,647	5,489	6,984	8,286	10,057	11,181	2,076	98	849	866.33%

※下段はうち外国人の延べ宿泊数

資料：まちづくり観光課

<考察>

(1) 入込客数について

令和4年は、3月まではまん延防止等重点措置の適用による行動制限によりイベントの開催や旅行自粛等の影響がありましたが、新型コロナウイルスの感染が落ち着き、県民割等の旅行需要喚起策による需要の下支えにより、入込客数は2019年（平成31年）比29.24%減の水準にまで回復しました。

コロナ禍でニーズが高まった屋外の体験型レジャーとしての集客力の強さと今シーズンは天候にも恵まれたことも重なり、「レールマウンテンバイク Gattan Go!!」は平成19年の開業以来の最高値となる65,579人となり、神岡エリアの観光の中核を担っています。

同じく神岡エリアに位置する「ひだ流葉スキー場」も、前年比35.06%増、2019年（平成31年）比25.70%増となり、屋外で楽しめるレジャーとして来訪者を増やしています。

構内に「飛騨産直市そやな」がオープンした道の駅アルプ飛騨古川は、前年比31.50%増となりました。「飛騨産直市そやな」がオープンした7月の入込客数は2019年（平成31年）比35.46%増、7月から12月までの入込客数は、2019年（平成31年）比14.35%増となっています。

「池ヶ原湿原」においては、メディア露出による認知向上により前年比47.84%増となりましたが、一方、「天生県立自然公園」については、例年より約1ヶ月遅い6月中旬に国道360号の冬季閉鎖が解除されたことに加え、開通期間中、工事により白川村側への通り抜けができなかったことから、48.20%の大幅減となりました。また、新型コロナウイルスの感染拡大を抑えるため、実施が控えられていたスポーツ大会が徐々に再開されたことにより、グラウンドの利用者数も増加しています。

今回の調査から追加した「ひだ森のめぐみ」は、令和元年10月のオープン以後、着実に認知度を高め、令和4年については、全国旅行支援を活用した高山駅発着のバスツアーの参加者が、入込客数を大きく伸ばしました。

(2) 宿泊者数について

市内宿泊者数は前年比40.23%増の72,354人となりました。県民割等により徐々に回復していったものの、2019年（平成31年）と比較すると33.31%減となっています。

新型コロナウイルスの感染が落ち着き、4月より都道府県が実施する県民割事業がスタートし、5月からは対象が近隣県に拡大されたことから、市内宿泊者数に占める、岐阜県の宿泊者数の割合は全体の15.45%（2019年：12.18%）、愛知県の宿泊者数の割合は全体の24.16%（2019年：18.44%）と、宿泊者数の約4割を占めました。一方、大阪府からの宿泊者数の割合は全体の8.75%となり、2019年（平成31年）より2.59%減少しました。

新型コロナウイルス感染拡大に伴い、外国人の延べ宿泊者数は大きく減少していましたが、水際措置が緩和された10月以降は徐々に回復し、849人となりました。

宿泊施設タイプ別にみると、2019年（平成31年）はホテル・旅館等が全体の86.67%を占めていましたが、令和4年は全体の79.60%と減少し、ユースホステル・ゲストハウスが7.5%、キャンプ場が12.89%を占めました。コロナ禍を経て旅のスタイルが変わり、宿泊施設への需要も多様化しています。

※令和4年からひだ森のめぐみを追加

<本件に関する問い合わせ先>

飛騨市 商工観光部まちづくり観光課 課長 齋藤 由宏 担当 石原 伶奈
電話 0577-73-7463（直通）